

山口県営下関稗田団地

1960-70年代に整備された県営稗田団地の団地再生計画である。従前住棟が簡耐であった南ブロックは1990年代に建替えられ、現在、北ブロック（1967-74年建設／中耐778戸）の団地再生が進められている。

北ブロックは、建替（現地＋非現地）と全面的改善を組み合わせ並行して事業をすすめることにより、再入居先の選択肢の増やすとともに、なるべく直接本移転できるようにするなど事業に伴う居住者の負担軽減に配慮している。

全面的改善住棟は、階段室型住棟からエレベーター付の片廊下型住棟に改修するとともに、従前が40㎡台の住戸：4戸を3戸にして40～60㎡台の住戸を供給するなど、バリアフリー化や型別供給に取り組んでいる。

所在地	山口県下関市
発注者	山口県
敷地面積	約10ha
用途	県営住宅（987戸）
構造・規模	R C造・地上3～10階建【改善】
竣工年	1987～94年、2000～2006年（基本～実施設計）